

みずほマーケット・トピック(2019年5月17日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来调の注目材料

- 3. 本日のトピック: 円相場の需給環境について~建値通貨別でユーロ建て証券投資が過去最大に~
- 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)
- ・ 今週のドル/円相場は揉み合う展開。週初 13 日に 109 円台後半でオープンしたドル/円は、週末の米中通商協議は合意に至らず不透明感が燻る中で 109 円台前半まで下落。その後、中国が米製品に対して 25%の報復関税を課すと発表したことから円買いが強まり、ドル/円は一時週安値となる 109.02 円まで値を下げた。翌14 日は、トランプ米大統領が中国との通商協議は決裂していないと発言したことなどからリスク回避の円買いが一服すると、ドル/円は 109 円台後半まで値を戻し、その後はレンジ推移となった。15 日は発表された中国の 4 月の主要経済指標が軒並み減速し、世界的な経済成長への懸念も高まる中、リスクオフの円買いが強まった。米 4 月小売売上高の弱い結果も相俟って、ドル/円は 109.20 円割れまで値を下げた。その後は、トランプ大統領が輸入自動車に対する追加関税に関し、判断を最大 6 か月先送りする見通しと報じされると、軟調だった米株が切り返す動きにドル/円は 109 円台後半まで回復した。16 日は、米 4 月住宅着工件数や米 5 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数等の良好な結果を好感すると、ドル/円は 109.97 円まで上昇した。本日のドル/円は、一時週高値となる 110 円をタッチする場面も見られ、現在は 109 円台後半で推移している。
- ・ 今週のユーロ/ドル相場は下落する展開。週初 13 日に 1.12 台前半でオープンしたユーロ/ドルは、中国の報復関税の発表を受けたドル売りに一時週高値となる 1.1264 まで上昇するも、株式市場の軟調推移を受けてユーロ/円が下落すると 1.12 台前半まで反落。 14 日は、サルビーニ伊副首相が必要に迫られれば EU の財政規律を違反する用意があると発言したことから、ユーロ/ドルは 1.12 近辺まで下落した。 15 日はリスクオフムードの中でユーロ/円の売りに連れ安となりユーロ/ドルも 1.11 台後半まで値を下げたが、自動車関税に関する報道を受けて 1.12 台前半まで急速に買い戻された。 16 日は、米経済指標の良好な結果や米金利の上昇を背景にドル買い優勢地合いになると、ユーロ/ドルは一時週安値となる 1.1166 まで値を下げた。本日のユーロ/ドルは来週に欧州議会選挙を控える中、様子見ムードが強く、 1.11 台後半で上値重い推移が継続している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		**·B-			\m	
		前週末		今	週	
		5/10(Fri)	5/13(Mon)	5/14(Tue)	5/15(Wed)	5/16(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.83	109.65	109.16	109.69	109.47
	High	110.05	109.85	109.77	109.70	109.97
	Low	109.47	109.02	109.15	109.15	109.34
	NY 17:00	109.95	109.31	109.61	109.59	109.84
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1219	1.1235	1.1233	1.1204	1.1208
	High	1.1253	1.1264	1.1244	1.1225	1.1224
	Low	1.1214	1.1221	1.1201	1.1178	1.1166
	NY 17:00	1.1236	1.1222	1.1204	1.1200	1.1173
ユーロ/円	東京9:00	123.22	123.21	122.62	122.88	122.68
	High	123.61	123.40	123.40	123.09	122.96
	Low	123.05	122.56	122.60	122.08	122.54
	NY 17:00	123.51	122.78	122.81	122.75	122.74
日経平均株価		21,344.92	21,191.28	21,067.23	21,188.56	21,062.98
TOPIX		1,549.42	1,541.14	1,534.98	1,544.15	1,537.55
NYダウ工業株30種平均		25,942.37	25,324.99	25,532.05	25,648.02	25,862.68
NASDAQ		7,916.94	7,647.02	7,734.49	7,822.15	7,898.05
日本10年債		-0.05%	-0.05%	-0.05%	-0.05%	-0.06%
米国10年債		2.47%	2.40%	2.41%	2.37%	2.39%
原油価格(WTI)		61.66	61.04	61.78	62.02	62.87
金(NY)		1,287.40	1,301.80	1,296.30	1,297.80	1,286.20

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2.来週の注目材料

- ・米国では、21 日(火)に 4 月中古住宅販売の発表が予定されている。3 月は前月比 4.9%の年率+521 万件と減少した。住宅ローン金利は 5 か月連続で低下するなど金利低下が続いているものの、2 月に同+11.2%と急増した反動減のほか、中古住宅在庫率は3.9か月と供給不足が続いており、中古住宅販売を抑制する要因となっている。先行指標である3月中古住宅販売留保指数は前月比+3.8%と増加しており、4 月の販売は前月比+2.6%の年率534 万件と予測されている。また、翌23 日(木)には4 月新築住宅販売件数の発表もあり、市場では前月比 2.2%の年率+67.7 万件とこちらは前月比マイナスが見込まれている。金融政策関連では、21 日(火)にパウエル FRB 議長のほか、エバンス・シカゴ連銀総裁とローゼングレン・ボストン連銀総裁が講演を行う。また、22 日(水)には FOMC 議事要旨(4月30日~5月1日開催分)が公表されるほか、ブラード・セントルイス連銀総裁とウィリアムズ NY 連銀総裁など、2019 年に投票権を持つ FOMC メンバーの講演が相次いで予定されている。
- ・本邦では、20 日(月)に 1~3 月期 GDP(1 次 QE)の公表があり、前期比 0.1%と小幅ながら再びマイナス成長に転じる見通しである。個人消費は、食料品値上げの報道が相次いだことや景気の先行き不透明感などから消費者マインドが悪化したことで下押しされたとみられる。設備投資は、人手不足を背景とした省力化投資ニーズは引き続き根強いものの、10~12 月期に前期比+2.7%と大幅に増加した反動に加え、輸出低迷による投資の先送りなどから弱含むと予想される。外需については、輸出は米国向けが底堅〈推移した一方で、中国向けや IT 需要の不振から減少したとみられる。輸入は内需の弱さに加え、前期の高い伸びの反動もあり大幅に減少したとみられ、純輸出の前期比寄与度は 1~3 月期の成長率を大き〈押し上げることになりそうだ。
- ・このほか、22 日(水)には4月貿易統計の発表がある。4月上中旬(1~20日)分の貿易統計では、輸出は前年比 0.8%(3月上中旬:同 2.3%)、輸入は同+4.7%(3月上中旬:同+4.6%)となり、貿易収支は 4872億円の赤字となった。報道によれば、輸出は半導体等製造装置などが減少した一方、輸入は電算機類(含む周辺機器)や通信機などが増加したようだ。市場では4月全体の輸出は同 1.4%、輸入は同+4.5%と予想されている。また、貿易収支は+2219億円、季節調整値では271億円の黒字と見込まれている。同日には3月コア機械受注(船舶・電力を除く民需)が発表される。2月のコア機械受注は前月比+1.8%と4か月ぶりのプラスとなったものの、1月の落ち込みは取り戻せなかった。3月工作機械受注(みずほ銀行による季節調整値)が前月比 1.3%と7か月連続で減少する中、市場では機械受注も同 3.5%と減少すると予測されている。3月が予想通りとなった場合、1~3月期は前期比 5.6%となり、機械受注見通し(同 0.9%)を大きく下振れる結果となる。

	本 邦	海 外
5月17日(金)		·米4月景気先行指数
		・米 5 月ミシガン大学消費者マインド(速報)
20日(月)	·1~3月期 GDP(1 次速報)	・米 4 月シカゴ連銀全米活動指数
	·3月鉱工業生産(確報)	
21 日(火)		·米4月中古住宅販売
22 日(水)	·4 月貿易統計	·米 FOMC 議事要旨(4月 30日~5月1日開催分)
	·3 月機械受注	
23 日(木)		·米 4 月新築住宅販売
		·欧州議会選挙(~26日)
24 日(金)	·4月全国消費者物価指数	·米4月耐久財受注(速報)

【当面の主要行事日程(2019年5月~)】

ECB 政策理事会(6月6日、7月25日、9月12日) G20 財務相・中央銀行総裁会議(6月8~9日)

日銀金融政策決定会合(6月14~15日、7月29~30日、9月18~19日)

米 FOMC(6 月 18~19 日、7 月 30~31 日、9 月 17~18 日)

G20 サミット(6 月 28~29 日)

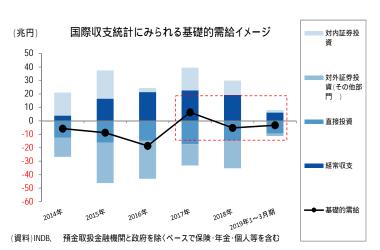
3. 円相場の需給環境について~建値通貨別でユーロ建て証券投資が過去最大に~

ソフト・ハードの両面から底堅さを示した米経済

昨日から本日にかけてのドル/円相場は良好な米経済指標の結果を受けて騰勢を強めており、一時は110円台にタッチする場面も見られている。米 5 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数や米 4 月住宅着工件数などソフト・ハードの両面で米経済の底堅さが確認されており、これに応じてドルも買われている。しかし、米 10 年金利は 2.40%付近まで戻すにとどまっており、5 月に入ってからの金利低下傾向に歯止めがかかったのかどうか定かではない。米経済の成長局面は相当に成熟化している疑いが強く、米金利やドルが再加速するような雰囲気は感じられない。

基礎的需給の実情は円売り傾斜か

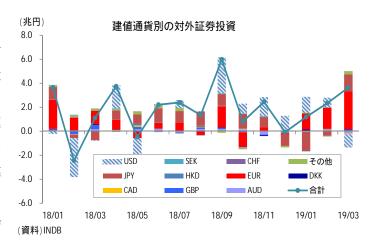
ところで今週14日には3月の国際収支統計が公表されている。これによって判明した2018年度の経常黒字は5年ぶりに前年度を下回ったことが話題となった。為替市場の観点からは需給環境の変遷が注目されるわけだが、図示される通り、本欄で注目する1~3月期の基礎的需給バランス(以下基礎的需給)は殆どどちらにも傾斜していない。具体的に1~3月期の基礎的需給は3.2兆円と円売り超過だが、昨年7~9月期が2.4兆



円、10~12 月期が+4.8 兆円と推移してきたことを考えると、結局、大きな方向感は出ていない。こうした状況は 2017 年以降、年単位で続いており、「動かない円相場」の一因と考えられる。より厳密に言えば、過去の本欄「でも議論した通り、基本的に本邦の経常黒字は第一次所得収支黒字と等しく、その大半は円転が期待できない「実需無き黒字」である。とすれば、基礎的需給バランスが概ね均衡(現状ではやや円売り)となっている現状は、実態としては円安圧力が強いということなのかもしれない。そして、それこそがリスクオフ時の円高に対して防波堤になっている可能性もある。

3月、ユーロ建て対外証券投資は過去最大

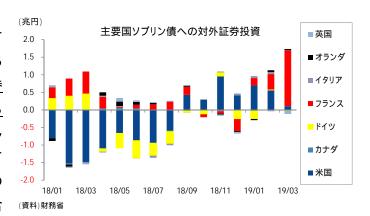
基礎的需給の趨勢を規定することが多い対外証券投資の動きについては、運用難の現状に鑑みれば、基本的には買い越し基調が続くようにも思われる。だが、欧米中銀の政策運営も着々とハト派に傾斜しているため、その勢いに過度な期待はすべきではあるまい。建値通貨別に対外証券投資の現状見ると、3月は10か月ぶりにドル建て証券投資が売り越



¹ 本欄 2019 年 4 月 2 日号『円高を阻む経常収支構造の変化』をご参照下さい。

しとなっている。3月は米10年金利が2.70%から2.30%台まで急落したタイミングであり、FOMCでは声明文における景気認識、政策メンバーの政策金利見通し(ドットチャート)が大幅に引き下げられ、バランスシート規模の縮小路線も5月から減速、9月で終了することが決定された。FRBが名実共に正常化路線を停止し白旗を挙げたのが3月であった。その後、米10年金利は4月に一時2.60%まで戻しているが、5月に入りやはり2.30%台まで落ち込んでいる。過去の本欄でも述べたように、米金利が低下する過程でも投機筋を中心として旺盛なドル買い意欲が維持されているのはあくまで絶対金利水準が高いからであり、この流れが強まればやはりドル建て証券投資からの離脱(売り越し)という流れは強まらざるを得ないだろう。3月はその流れが始まる一端が垣間見えたようにも思われる。

片や、目を引いたのがユーロ建て証券投資だ。 3月は+3.1 兆円と過去最大の買い越しとなっている。この動きをけん引したのはフランスであり、3月、本邦からフランス国債への対外証券投資は+1.6 兆円と過去最大を記録している(図)。格付けや金利水準、流動性などを加味した結果、運用難に直面する本邦投資家にとってフランス国債が有望な投資先になっているとの見方は頻繁に見聞きするものだが、1~3月期合



計で+2.2 兆円と同時期の米国債(+1.3 兆円)より大きな額が買い越しされている。もっとも、足許ではイタリアの財政規律を巡って懸念が再燃しており(サルビーニ副首相が EU 財政ルールを反故にした拡張財政の可能性を示唆したため) このままユーロ圏のソブリンリスクを取る流れが続くのか定かではない。ドルもユーロも投資環境が悪化するとなると、「買えるものがない」という本邦投資家の置かれた環境は今後ますます強まることになる。本欄では対外証券投資が萎縮する中で基礎的需給が全体的に円買いへ振れる展開を前提に為替相場見通しを検討している。

国際為替部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

パックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

### 2月19日		k.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html
2005年3月14日	発行年月日	過去6か月のタイトル
2009年8月10日 東京 本中国政党委員会の日本日本大の10mm アーツ (2009年8月10日 日本日本) (2009年8月10日 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日		
2019年5月1日		
2019年3月19日 「根心の単型」から発表が、大手では、「中国の関係という。 2019年3月2日		
2019年4月2日		
2019年4月20日		
2009年月20日 現来が上来報道・設計を示すできた。1000年12月 1000年日末日本 1000年月12日		
1920年4月29日		
2019年4月2日		
2019年4月19日	2019年4月23日	
2019年4月19日	2010年4日20日	
2019年4月19日		
2019年4月11日		
2019年4月16日 「安全の参与・音相談した地で・長間の女ピーツー 2019年4月16日 国東族(ではり意思した)数月にし、地名)・『音呼は自然会を受けて一) 2019年4月17日 国東族(ではり意思した)数月にし、地名)・『音呼は自然会を受けて一) 2019年4月18日 フリング・小野を出るのと、一般の主義を対して、 2019年4月18日 フリング・小野を出るのと、一般の主義を対して、 2019年4月18日 フリング・小野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・小野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・小野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・小野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・大野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・大野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・大野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・大野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・大野を出るのと、 2019年4月19日 フリング・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・		
2019年8月19日		
2009年4月12日 過程度(では20世間と)200年4月12日 同世世界が高速に上の間に含めたまた。		
2019年4月10日 10年度月度日、「日間に見る世界最近の変化 2019年4月日 17世でジートリードリードリードリードリードリードリードリードリードリードリードリードリードリ		
2019年4月9日 戸田原の基準的高位理で「労働」がたたらすレンジー 2019年4月9日 選生版にインがけんが「ちゅうの展」で大前れたドイツ製造業費性~) 2019年4月9日 選生版にインがけんが「ちゅうの展」で大前れたドイツ製造業費性~) 2019年4月9日 プルデンドイ間を設定を必要ない。		
2019年4月5日		
2019年4月4日	2019年4月8日	ブレグジット情勢を巡るQ&A~臨時首脳会議を前に~
2019年4月3日 「日本日本	2019年4月5日	週末版(ドイツがけん引するユーロ圏の減速~大崩れしたドイツ製造業受注~)
2019年4月1日	2019年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(18年12月末)
2019年3月26日	2019年4月3日	ECBはマイナス金利を階層化するのか?
2019年3月20日 円安リスクの直移・装えて考えら円安リスク〜 2019年3月20日 円安リスクの直移・装えて考えら円安リスク〜 2019年3月20日 大部点人登電気の対力性の上間を発生のサスター 2019年3月20日 大部点人登電気の対力性の上間を対しておった大変関係を対していました。 2019年3月14日 大部の市民にして製造した。 2019年3月16日 大部の市民にして製造した。 2019年3月16日 大部の市民にして製造した。 2019年3月16日 大学がの下央にして製造した。 2019年3月16日 大学がのドストルを製造して、一切にして製造した。 2019年3月16日 大部のドス東は大部・大学など相手的が参加したいで製造した。 2019年3月16日 大部のドス東は大部・大学など相手的が参加したいでは、 2019年3月16日 大部のドス東は大部のドス東は大田のかり用で、型いてはも世界が達り指揮へ) 2019年3月16日 大部のドス東は大田のは、日本のかり用で、型いてはも世界が達り指揮へ) 2019年3月16日 大部のドス東は大田のかり用で、型いては、日本のドス東は、 2019年3月16日 大部のドス東は大田のかり用で、型いては、 2019年3月16日 大部のドス東は大田のかり用で、型いては、 2019年3月16日 大部のドス東は大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 大部のドス東は大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 電景では、大田の中国が大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 電景では、大田のかり用で、型の地には、 2019年3月16日 大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 大田のかり用で、型は、 2019年3月16日 日本のかり用で、日本のかり用で、国を関ロ・フェルスの対策による。 2019年3月16日 日本のかり用で、日本のか	2019年4月2日	円高を阻む経常収支構造の変化
2019年3月26日 円安リスクの高格・数えて考えら円安リスター 2019年3月27日 選素版 (1943-15 ケーションが死れ始めた)ドロ・未来を関係の対えないドットチャート〜) 2019年3月27日 選素版 (1943-15 ケーションが死れ始めた)ドロ・未来を関係の対えないドットチャート〜) 2019年3月18日 「ユーロの日本社(1943-13 場合) 2019年3月18日 「ユーロの日本社(1943-13 場合) 2019年3月18日 「ユーロの日本社(1943-13 場合) 2019年3月18日 ブレグシル、「記憶 日の音法と「断たい場合) 2019年3月18日 ブレグシル、「記憶 日の音法と「断たい場合) 2019年3月18日 ブレグシル、「記憶 日の音法と「断たい場合」 2019年3月18日 ブレグシル、「記憶 日の音法と「断たい場合」 2019年3月18日 ブルグシル、「記憶 日の音法と「断たい場合」 2019年3月18日 大阪		
2019年3月25日 「自かの花を思う大」との2019年3月26日		
2019年3月218		
2019年3月15日 末橋(人内学家の好外資金ソロー 期間(2019年3月分) 2019年3月15日 元 一面の日本化の正しい後か方 2019年3月15日 元 大阪(ブレグシ小交路、当春の節か方へ入胃整剤は参加するのか?~) 2019年3月15日 元 大阪(ブレグシ小交路、当春の節か方へ入胃整剤は参加するのか?~) 2019年3月13日 元 大阪(ブレグシ小交路、対象の節か方へ入胃性剤は参加するのか?~) 2019年3月13日 元 大阪(北京 大阪) (成月 10年 11月分)		
2019年3月18日 「ユーロ豚の日本化」の正しい接入方 2019年3月18日 「東東版「アンジン・文集」・墨田俊氏資産 2019年3月18日 「東京版「アンジン・文集」・墨田俊氏資産 2019年3月18日 大規一人教育、変の対外資金フロー助向(2019年1月月) 大規一人教育、変の対外資金フロー助向(2019年1月月) 大規一人教育、変の対外資金フロー助向(2019年1月月) 大規一人教育、変の対外資金フロー助向(2019年1月月) 大規一人教育、変の対外資金フロー助向(2019年1月月) 大規(から、水利・金属・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・		
2019年3月15日 対象版(アリグシック変)、当節の読わ方へ人関節的は表別するのか?~) 2019年3月15日 プラクラックシャ、「2度目の写法」と「新たな問題」 2019年3月15日 プラクラックシャ、「2度目の音楽」と「新たな問題」 2019年3月15日 大野風人及音楽の分外を含シェー動詞(2019年1月分) 本月風人及音楽の分外を含シェー動詞(2019年1月分) 本月風人及音楽の分外を含シェーを制していたりまます。 2019年3月5日 大野風人及音楽の分外を含シェーを制していたりまます。 2019年3月5日 大野風人の音楽の分外を含シェーを対していたりまます。 2019年3月5日 大野風人の音楽のが大きなプロ・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック		
2019年3月14日 地方の南欧化上を想起とせる集積列・甲基組質金		
2019年3月13日 フレグシハ- 「2度目の音法」と「新たな規模」 2019年3月18日 末野原人投資家の対外発金フロー動向(2019年1月分) 本井原人投資家の対外発金フロー動向(2019年1月月分) コリキュ月4日 温末族(医政権事業を終えてトラ子校表は民人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2019年3月18日 本邦島人投資家の対外最全70一動向(2019年1月分)		
本料局、投資家の対外を全フロー動向(2018年12月分) 2019年3月5日 送来族(医の政策事業を含性人で・ドラ松酸社 に戻れ上げできずに遺任へ) (2019年3月5日 大統領の・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・地方・		
2019年3月8日 選集版(COB放策選集会を終えて・ドラキ総裁は度も利とけできずに遺任へ〜) 2019年3月4日 栄養的上男を終した「大学のドレビ・世界) 2019年3月3日 関土版(参数政策発生に売るが)という場屋へ 2019年3月3日 関土版(参数政策発生に売るが)といる別のでは、 2019年3月30日 関土版(グロリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	2019年3月12日	
2019年3月5日 米金利上男&ドル高を限むドル化した世界」 2019年3月1日 大統領の大阪高大の場下交近相手国が思いという理屈~ 2019年2月27日 アリスクの機を出来ら悪いた年初の2か月附~互いに「住む世界が違う」検相~) 2019年2月27日 アリスクの機を出来ら悪いた年初の2か月附~互いに「住む世界が違う」検相~) カス版 全総数支格後に落ち悪いた年初の2か月附~互いに「住む世界が違う」検相~) カス版 アリスクの機を制定外える日秋の主体で、可要は、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	2019年3日8日	
2019年3月4日 大統領のドル高化へ制一不安な14月年間が悪いしたいう理器へ 2019年3月27日 米中質品は諸英雄秘密を表である熱い生年初の2019年3月27日 米中質品は諸英雄秘密を対して、現状に関望の整理へ 2019年2月22日 月東32のの食金・想定やの食金・地でから、2019年2月21日 ドウMの諸事要言「patient」の賃金基で 2019年2月21日 ドウMの諸事要言「patient」の賃金基で 2019年2月21日 日		
2019年2月3日		
2019年2月21日		
2019年2月28日 用文型 選末版 2019年2月21日 FONC議事事旨 ~ [patient]の舞台及~ 2019年2月12日 日本地区株式 (中央 1998年19月20日 日本地区株式 (中央 1998年19月20日 日本地区株式 (中央 1998年19月20日 日本地区株式 (中央 1998年19月20日 日本地区 (中央 1998年2月12日 日本 1998年2月12日 現末版 (中外 1998年2月12日 日本 1998年2日2日2日 日本 1998年2日2日2日 1998年2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日		
2019年2月21日 「ONC議事業旨で「Pastent」の舞台版で 2019年2月18日 (奈津で日上秋年間への開榜と為日本版 2019年2月18日 (奈津で日上秋年間への開榜と為日本版 2019年2月18日 (奈津で日上秋年間への開榜と為日本版 2019年2月18日 (奈津で日上秋年間への開榜と為日本版 2019年2月18日 (京津では、14년間経の悪化・大東以来の大使召還で 2019年2月18日 (京津では、14년間経の悪化・大東以来の大使召還で 2019年2月18日 ドル(円根は日本際によるのか? 2019年2月18日 (京井では、14년間経の悪化・大東以来の大使召還で 2019年2月18日 (京井では、14년間後の悪化・大東以来の大使召還で 2019年2月18日 (京井では、14년間後の悪化・大東以来の大使召還で 2019年2月18日 (京井では、14년間を) (京門は、14년間を) (京井では、14년間を) (京井では、14년間を) (京井では、14년間を) (京井では、14년間を) (京門		
2019年2月15日		
2019年2月18日 海東版(火小売先)店のシックをどう抜くか?~懸念される逆資産効果~) 2019年2月18日 出来版(火小売先)店のシックをどう抜くか?~懸念される逆資産効果~) 2019年2月18日 連末版(2019年07日相鳴の基化か、無以末の大使召還~ 2019年2月18日 連末版(2019年07日相鳴の基礎が画港連 2019年2月18日 選末版(2019年07日相鳴の基礎が画港連 2019年2月18日 選末版(2019年07日相鳴の基礎が画港連 2019年2月18日 選末版(2019年07日相鳴の基礎が画港連 2019年2月18日 選末版(2019年07日相鳴の基礎が画港連 2019年2月18日 フレグシッケ支渉を過る60名の今。 2019年2月18日 フレグシッケ支渉を過る60名の今。 2019年1月18日 フレグシッケ支渉を過る60名の今。 2019年1月19日 7レグシッケ支渉を過る60名の今。 2019年1月21日 2019年1月1日 2019年1月21日 2019年1月21	2019年2月21日	FOMC議事要旨~「patient」の舞台裏~
2019年2月15日 週末版(米小売売上高ショックをご続わか?~懸念れる逆資産効果~) 2019年2月12日	2019年2月20日	自動車関税を前に考える日欧の立ち位置
2019年2月14日 第過できない4件関係の悪化〜大戦以来の大使召遣〜 2019年2月18日 第小小円相場は新紫配にあるのか? 2019年2月18日 第七月公司とい野外面指投資の測定 2019年2月18日 2019年2月1日 次期にの路能ルースの現び整理 2019年2月18日 2019年2月1日 次期にの路能ルースの現び整理 2019年2月18日 2019年2月1日 2019年2月20日 日本版 2019年2月21日 日本版 2019年2日21日20日21日20日21日20日20日20日20日20日20日20日20日20日20日20日20日20日	2019年2月18日	停滞する日米欧中銀への期待と為替相場
2019年2月13日 ドル/円相場は新楽館にあるのか? 2019年2月18日	2019年2月15日	週末版(米小売売上高ショックをどう読むか?~懸念される逆資産効果~)
2019年2月12日 変わりそうにない対外直接投資の謝済 2019年2月7日		
2019年2月8日		
2019年2月7日		
2019年2月6日		
2019年2月1日 選末版		
2019年2月1日 週末版 2019年1月28日 「株価ファースト」という誤解を招きかねない8/S縮小戦略 2019年1月28日 「株価ファースト」という誤解を招きかねない8/S縮小戦略 2019年1月28日 開ウリスクの点検〜円高のメインシナリオを揺るがすもの〜 2019年1月28日 国本版(ECB政策理事をを終えて〜「年内利上「採し」を暗に認めたドラギ総裁〜) 2019年1月22日 関本版(ECB政策理事をを終えて〜「年内利上「採し」を暗に認めたドラギ総裁〜) 2019年1月21日 対米貿易黒平ゼロ計画について〜マッチボンブは終わらず〜 2019年1月12日 対米貿易黒平ゼロ計画について〜マッチボンブは終わらず〜 2019年1月18日 別末版(正常化どころではないECBを取り巻くが設〜市場のメインシナリオは転換済み〜) 2019年1月18日 別末野の「開発した」では大な末着制」に終わるか〜 2019年1月1日 図末版 2019年1月1日 図末版 2019年1月1日 日東の場かの過ぎる「波」 2019年1月1日 日東の場かの過ぎる「波」 2019年1月2日 別の過酷用が砂路が、プル」という考え方について 2019年1月2日 日東の場合でありる。「中の場合であります」というまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		
2019年1月31日 FOMCを受けて、正常化プロセスの終了。 2019年1月29日 持備ファースト」という誤解を招きかねないB/S縮小戦略 2019年1月26日 西安リスクの点検・円高のメインシナリオを揺るがすもの〜 2019年1月27日 週末版 (ECDB放業理事会を終えて、「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総載〜) 2019年1月27日 図本産品収策決定会会を受けて、「顧望すら難しい状況に〜 2019年1月27日 図末度 (工事化ところではないECBを取り巻な近況〜市場のメインシナリオは転換済み〜) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理〜「壮大な茶番劇」に終わるか〜 2019年1月17日 英国情勢の論点を理〜「壮大な茶番劇」に終わるか〜 2019年1月18日 割末版 (工事化ところではないECBを取り巻な近況〜市場のメインシナリオは転換済み〜) 2019年1月18日 フィンルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月19日 フィンルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月1日 フィンルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月1日 フィンルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月1日 フィンルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月1日 フィンルは扇れてからがパブル」という考え方について 2018年12月21日 フィンルは高級で表がする19年1月通し フィンルは扇れてからがパブル」という考え方について 2018年12月21日 フィンルは一部では、アール・フィールのである場が、アールリスが出る中へ 2018年12月1日 フィンルは一部では、アールリスのは		
2019年1月28日		
2019年1月28日 円安リスクの点検~円高のメインシナリオを据るがすもの~ 2019年1月24日 国来版(ECB政策理事金を終えて~「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁~) 2019年1月24日 国金融政策決定会会を受けて~「願望」する難しい状況に~ 2019年1月21日 対米貿易黒平せ口計画について~マッチボンブは終わらず~ 2019年1月18日 選末版(正常化どころではないECBを取り巻ん近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月18日 関末版 17(ブルは前れてからがパブル」という考え方について 2019年1月18日 財界・ップの相場観と静か過ぎる「波」		
2019年1月25日 選末版(FC)B政策理事会を終えて〜「年の利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁〜) 2019年1月21日 日報金融政策決定会合を受けて〜「願望」すら難しい状況に〜 2019年1月21日 対決貿易黒字ゼロ計画について〜マッチボンブは終わらず〜 2019年1月11日 対決貿易黒字ゼロ計画について〜マッチボンブは終わらず〜 2019年1月11日 選末版 (正常化どころではないECBを取り巻く近沢〜市場のメインシナリオは転換済み〜) 2019年1月11日 選末版 2019年1月11日 選末版 2019年1月1日 選末版 2019年1月1日 選末版 2019年1月1日 選末版 2019年1月1日 2019年1月8日 財計・サンプの相増観と静か過ぎる「波」 2019年1月7日 バブルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月7日 パブルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月7日 2019年1月7日 2019年1月7日 2018年12月21日 2018年12月21日 国末版 (FCMのを終えて〜部局面への手歩、為着への影響は〜) 70Mのと前に読みたい自川元日銀総裁イングビュー 本邦個 人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月1日 2019年 日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月1日 2019年 日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月1日 2019年 世界経済の勘所へ利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 2019年 世界経済の勘所へ利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 数を出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 数を設策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月1日 対り暴動の誘み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは米年こそ変わる〜 2018年11月20日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは米年こそ変わる〜 2018年11月21日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは米年こそ変わる〜 2018年11月21日 オープ・全大選を誘すると同りに対対的よび対比 2018年11月21日 オープ・ディンを表見すると表して、ボリオ・マ・ディン・プラ・マ・ア・ディン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア		
2019年1月24日 日銀金融政策決定会会を受けて~「願望」すら難しい状況に~ 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチボンブは終わらず~ 2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻が近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月18日 関界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月18日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月19日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月1日 フィールは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月2日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 日本版(FOMCを終えて~断局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 アのMを前に読みたい自川元日銀総裁インタビュー 2018年12月19日 西来版(FOMCを終えて~断局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 週末版(FOMCを終えて~断局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 週末版(FOMCを終えて~断局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 週末版(FOMCを終えて~断局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 週末版(FOMCを終えて~断局面に変わか? 2018年12月19日 週末版(FOMCを終えて~所高まる警戒」ど「終入自信」~) 2018年12月11日 西来版(FOMCを終えて~「高まる警戒」と「終入自信」~) 2018年12月11日 近日は、世界経済の勘所、利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 週末版(FOMCを記す上げの真価が見れる年~ 2018年12月1日 数き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 類き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月3日 米・中首脳会験・2020年まで続きをそうな「壮大なマッチボンブ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月21日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月22日 週末版(創載手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月22日 週末版(創載手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ユーロ圏を巡査後オフローとコーロ相場について 2018年11月21日 ユーロ圏を巡査後ネフローとコーロ相場について 2018年11月21日 コーロ圏を巡査後オフローとコーロ相場について 2018年11月21日 コーロ圏を巡査後ネフローとコーロ相場について		
2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画についてペマッチボンブは終わらず~ 2019年1月18日 対米貿易黒字ゼロ計画についてペマッチボンブは終わらず~ 2019年1月18日 英国情勢の論点整理~「杜大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「杜大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 次記の審開けの読み方~褚突猛進の円高スタート~ 2019年1月2月2日 32の論点で要かする19年見通し 2018年12月27日 32の論点で要かする19年見通し 2018年12月27日 週末版 (FOMCを終えて~新局面への第一步、為替への影響は~) 2018年12月21日 週末版 (FOMCを終えて~新局面への第一步、為替への影響は~) 2018年12月17日 2019年、日来版のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 2019年、日来版のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 2019年、日来版のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 2019年、世界経済の動所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月17日 2019年、世界経済の動所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月18日 ECB政策理事会を終えて~「高よる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月18日 2019年、世界経済の動所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月18日 2019年、世界経済の動所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月18日 2019年、世界経済の動所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月18日 2018年12月19日 週末版 2018年12月19日 週末版 2018年12月19日 週末版 2018年12月19日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは末年こそ変わる~ 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは末年こそ変わる~ 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは末年こそ変わる~ 2018年11月28日 メインシナリオへのリスクスを検索を受けるがない理由 2018年11月28日 2018年11月28日 2018年11月28日 2018年11月21日 2018年11月29日 2018年11月21日 2018		
2019年1月18日		
2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「社大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月1日 図末版 2019年1月8日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」		
2019年1月1日 週末版 2019年1月2日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月7日 次プルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方~猪突猛進の円高スタート~ 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月27日 週末版(FOMOを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月21日 週末版(FOMOを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 万のMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー本邦砲人投資家の対外資金フロ一動向(2018年11月分) 2019年、日米股のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 2019年、日米股のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月18日 2019年、世界経済の動所へ利上げの真価が現れる年~ 2018年12月19日 2019年、世界経済の動所へ利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月1日 世界経済の動所へ利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 2019年、世界経済の動所へ利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 週末世にプレアナケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 週末世にプレアナケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 連末版 2018年12月1日 単大単立 単大型 単大型 単大単立 単大型		週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~)
2019年1月8日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月7日 バブルは前れてからがパブル」という考え方について 2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方〜落突猛進の円高スタート〜 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 FRB議長解任騒動について〜正真正銘のリスクオフを前に〜 2018年12月1日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総載インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月14日 2019年、日米政のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 2019年、日米政のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月1日 2019年、日米政のデールリスクはどこにあるのか? 2018年12月1日 2019年、日大田の東西の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の		
2019年1月7日		
2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方~猪突猛進の円高スタート~ 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月21日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月18日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月19日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 週末版 (ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月1日 週末版		
2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 FRB護長解任騒動について~正真正銘のリスクオフを前に~ 2018年12月21日 週末版 (FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月11日 ECB政策理事会で終えて~「高度が現れる年~ 2018年12月11日 団勢さ出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月4日 別にからがよりでは、中国では関する株価~ 2018年12月3日 場末版 2018年12月3日 場下が、会利に追随する株価~ 2018年12月3日 場上が、システィールド~金利に追随する株価~ 2018年12月3日 場上が、システィールド~金利に追随する株価~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月30日 週末版 2018年11月2日 週末版 2018年11月2日 週末版 2018年11月2日 週末版 2018年11月2日 ガーンシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月2日 にCB政策理事会議事業要省~TLTRO3の行方~ 2018年11月2日 週末版 (制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月2日 フーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月2日 ノーディールを視野に入れ始めたボンド相場		
2018年12月25日 FRB議長解任騒動について〜正真正銘のリスクオフを前に〜 2018年12月21日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月1日 月下のMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月1日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 2018年11月30日 週末版 2018年11月30日 週末版 2018年11月30日 週末版 2018年11月27日 週末版 3018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月28日 2018年11月28日 2018年11月28日 週末版 (制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月21日 2018年11月21日 2018年11月21日 2018年11月21日 2018年11月21日 2018年11月21日 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年12月21日 週末版(FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 ECB政策理事会ブレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月3日 ※に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年11月30日 週末版 2018年11月30日 週末版 2018年11月27日 週末版(本年にを変わる〜 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月27日 続「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月20日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月20日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 週末版 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月1日 2018年12月3日 送に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月3日 水中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年11月30日 週末版 2018年11月38日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨〜TLTRO3の行方〜 2018年11月21日 図末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月28日 ECB政策理事会議事要旨〜TLTRO3の行方〜 2018年11月21日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月21日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて、「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 2018年12月3日 水リ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月27日 2018年11月27日 週末版 (制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたボンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~	2010年12月13日	
2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月11日 財き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月3日 ※に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド和場 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたボンド和場 2018年11月21日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~	2018年12月17日	
2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月4日 バリ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポント相場 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポント相場 2018年11月21日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~		
2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 選末版 2018年12月5日 選末版 2018年12月5日 ズリ桑舞の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 水中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月27日 2018年11月28日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月27日 週末版 (制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~		
2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月27日 信・安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月28日 このB政策理事会議事要旨〜TLTRO3の行方〜 2018年11月21日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 バリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検〜FRBは来年こそ変わる〜 2018年11月27日 続「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月27日 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会〜イタリアにとっては辛いポリシーミックス〜) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたボンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年12月4日 パリ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月28日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月28日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~	2018年12月7日	
2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~ 2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~		
2018年11月30日 週末版 2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~		
2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~ 2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月22日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~		
2018年11月27日 続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由 2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月27日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを採門に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望~制裁が視野に~		
2018年11月26日 ECB政策理事会議事要旨~TLTRO3の行方~ 2018年11月22日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会~イタリアにとっては辛いポリシーミックス~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れめたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る資本フローとユーロ相場について		
2018年11月22日 週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会 ~ イタリアにとっては辛いポリシーミックス ~) 2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望 ~ 制裁が視野に ~		
2018年11月21日 ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場 2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年11月20日 ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について 2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜		
2018年11月19日 イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜	2018年11月20日	ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について
本邦値人投資家の対外資金フロー動同(2018年10月分)	2018年11月19日	イタリア政局を巡る現状と展望〜制裁が視野に〜
		本邦個人校貿系の対外貿金フロー駅回(2018年10月分)